

7月6日・7日の大雨で上有旅地区でも災害が発生しました。

上有旅地区と柳沢地区を結ぶ農道が土砂崩落のため通行止めとなっております。復旧のめどがたっておらず当分の間通行できません。

なお、崩落現場から上有旅地区側約100mは路面が波打っております。危険ですから近づかないでください。



上有旅地区側から



柳沢地区側から



信里だより



令和2年度 2号 (令和2年11月1日)

発行 信里地域委員会 調査提言部会
発行者 調査提言部会長 野沢 清子

赤い糸応援

10月上旬予定

延期のお知らせ

婚活事業「赤い糸応援」は、コロナウイルスによる肺炎拡散に配慮し、令和3年10月上旬に延期します。

緊急事態宣言は解除されておりますが、コロナウイルスによる肺炎が無くなったわけではありません。不要不急の外出を避け、三密を避け

うつらない、うつさない ようにしましょう。

信里地域の課題解決の検討委員会が発足しました

・令和2年6月6日会則第11条により三役会で信里地域の課題解決の検討委員会を発足することにしました。

・検討委員会は下記の皆さんです

◎北澤 民雄(元委員長) ○島田 利男(前副委員長)
柳澤 茂雄(元副委員長) 柳沢 保雄(前副委員長)
中島 法子(元副委員長) 塚田 恭市(事務局長)
中島 愛子(元副委員長)

◎印は会長 ○印は副会長

・検討事項

会則の検証
委員長の選任方法
その他懸案事項



調査提言部会からのお願い

・空き家対策調査にご協力をお願いします

調査提言部会では昨年からの空き家対策の一環として、地域内の空き家の状況を調査しています。調査提言部会員が地区に調査に行きましたらご協力をお願いします。各地区の区長さんには各地区の案内、空き家の持ち主、空き家の状況等をお願いします。

前号組織図の訂正

今年度第一号裏面の組織図に一部誤りがありました。以下の通り訂正してお詫び申し上げます。

総務部会 有旅第一 高橋 通

教育公民館部会 副部会長(会計) 渡邊昌佐樹

人権教育指導員 柳沢 保雄(笹鍋)

地域委員会WEBサイト <https://nobusato.net/>

※訂正版をWEBサイトに掲載しています。

地域おこし協力隊員が2名着任しました

信里地区では9月より2名の地域おこし協力隊員が着任しました。お二人の自己紹介を掲載します。

木村 智佳子さん

昭和60年2月1日生まれ、神奈川県横浜市出身

大学で4年間、農業の勉強がしたくて、熊本の南阿蘇村に住んでいました。しかしながら卒業後は直接農業に関わる仕事には就かず、東京で会社員として13年が経過。前職は水処理メーカーに勤めていました。



水処理工程で発生する汚泥を堆肥化して農業資源へと転換し、その活用を推進する部署にいました。会社員として、農家さんとの関わりが密になってくるにつれて、やはり“自ら農業がやりたい”、その思いが年々強くなり、新規就農をする選択肢のひとつとして“地域おこし協力隊”という制度を検討しながら転職活動をしていたなかで、長野市とのご縁がありました。

長野には縁もゆかりも無いどころか、“長野市”には35年間一度も訪れたことのない状況で、今年3月に“おためし地域おこし協力隊”として地区を視察に回らせていただき、そして6月、ここ信里に移住を決めました。

米、大豆、露地野菜、果樹、複合的に取り組んでいきたいと思っています。そして狩猟にも関わりたいので狩猟免許も、猟銃と罟、両方取得しようと思っています。そのうち山羊(日本在来種のトカラ山羊、あるいはシバ山羊)と地鶏を飼いたいとも思っています。

早く地域の方々の一員となれるよう活動してまいります。よろしくお願いたします。

地域おこし協力隊は国の制度として特別交付税措置を利用して長野市で会計年度任用職員として採用しています。木村さんは有旅在住、メイさんは篠ノ井ニツ柳在住で信里地区内で住居を募集中です。貸していただけの空き家や売却希望の空き家、宅地などの情報がありましたら信里地域委員会または調査提言部会員へお寄せください。

オーラック メヘルナース(メイ)さん

はじめまして。テヘラン出身のオーラックメヘルナースと申します。

メヘルナースはペルシア語で太陽の光という意味です。しかし、日本の皆様には発音がしにくい名前なので、七年前に来日してから、日本人の友人達にメイと呼ばれてそのまま私のニックネームになりました。どうぞ、メイと呼んで下さい。



テヘラン大学では、化学工学を専攻し卒業をしてから、大学院で再生可能エネルギーを学びました。一年半日本語を勉強して、国立東京農工大学の博士コースに入学して勉強し始めた頃、原因不明の病気で集中力が下がってしまい勉強を継続することが困難になり、休学も考えましたが経済的な問題が有り退学の道を選びました。

日本が大好きな私は、帰国せずに得意の語学を生かし英会話の先生を広尾(東京都渋谷区)の英会話教室やら、他の英会話学校で教えることで日本に留まる事にしました。語学を教える仕事を通じて、単に英語会話を教えるのではなく、いろいろな国の先生方々やその友人の外国の方々と私の日本人の若い生徒達とを世界中の人々に繋げたいと思って働いていました。自分の世界を広げてくれた言語を使いながら将来の事を考えたいと思っています。

私の基本的な考えは、いつも自分に良い、他人に良い、環境に良い仕事をする事です。二年前に橋本病と診断されてがく然としましたが、自然の力で治癒能力を高めて症状を軽減する方法に出会い、みるみる元気を取り戻し復活しました。病気の原因の一つは農薬でした。この事を更に理解するには、農業と自然に近い所で住むべきだと思いました。

私は、日本を旅行した中で長野は素晴らしいところだと思っていました。いつか長野県のどこかで住もうという夢も思いました。私の症状を大きく軽減してくれた食物の中で一番効果的だったのはセロリです。いつも東京のスーパーで長野産のセロリを探して買って毎朝ジュースに使って飲んでいました。しかし私としては、贅沢な事かも知れませんが、私が食べている野菜や果物は、まだ完全に無農薬や有機ではない事、その事が毎日私の頭の中から離れませんでした。

元東京マラソンのコースの半分を友人と歩き終わったところでふるさと回帰センターに出会って、親切な窓口の担当者に3時間くらい色々お話を聴かせてもらいました。その中で移住フェアを紹介してもらいました。セロリの生産地、長野県のブースを訪ねて長野市役所地域活動支援課の宮本さんにお会い出来て、地域おこし協力隊お試しで信里地区に来て素晴らしい地域の方々に出会い最後に篠ノ井から信里の景色を見て私の気持ちは固まりました。私はイベント関係の担当をさせて頂くようになりましたが、これから、信里の魅力を発見しながら、自然農法を勉強したり、田舎暮らしの伝統を学びながら経験を通じて許されるなら新しい挑戦もしたいです。そして、無農薬や有機食材の大切さを発信出来たら良いなと思っています。私の現在出来る限りの能力で信里の力になれるように努力したいです。

未使用マスクを信里小学校に寄贈しました

信里地域委員会では政府からの配布マスクなど未使用のものを回収し、約60枚を地区の皆様からご寄付いただきましたので、9月4日に一部を信里小学校へ寄付しました。ご協力ありがとうございました。校長先生、児童会長よりお礼のお手紙をいただきましたのでご紹介します。



この度は子どもたちのため、マスクを寄贈いただき、誠にありがとうございます。学校は2学期に入り、夏休みを短縮したり、臨時休業中の学習の遅れも、夏休みを短縮したり、学校行事を見直したりして、おおよそとりのりもでき、全児童三十五名となり、九月に入ってから、職員も元気に過ごしております。今年度はコロナの影響で学校のプールは使えませんが、子どもたちの健康のため、プールは南長野運動公園のプールへ、二、五年生は、きりですが、水泳学習を行うことができ、子どもたちも久しぶりのプールという事で、笑顔にあふれていました。今後、親子で、大会、社会見学や修学旅行等感染の状況を、が実施していく予定です。今後とも、感染防止に努め、県内でも新規感染者が増えてきました。これからの感染拡大に備え、いただいたマスクを、使いながら子どもたちのため、お願いたします。今後とも、感染防止に努め、

←校長先生 ↓児童会長

今年、学校では新型コロナウイルス感染のえいきょうで、4月から5月までの2か月ほど休みになってしまい、その後も分散登校をしたり、いつもの授業ができなからたりすることがあります。以前にマスクがどこにもなく、困っていました。今でも学校生活ではもちろん、バスに乗るときにもマスクは欠かせません。こんど地域の方々からマスクを寄付して下さると聞いてとてもありがたく思います。マスクはみんなで大丈夫に使いたいと思います。